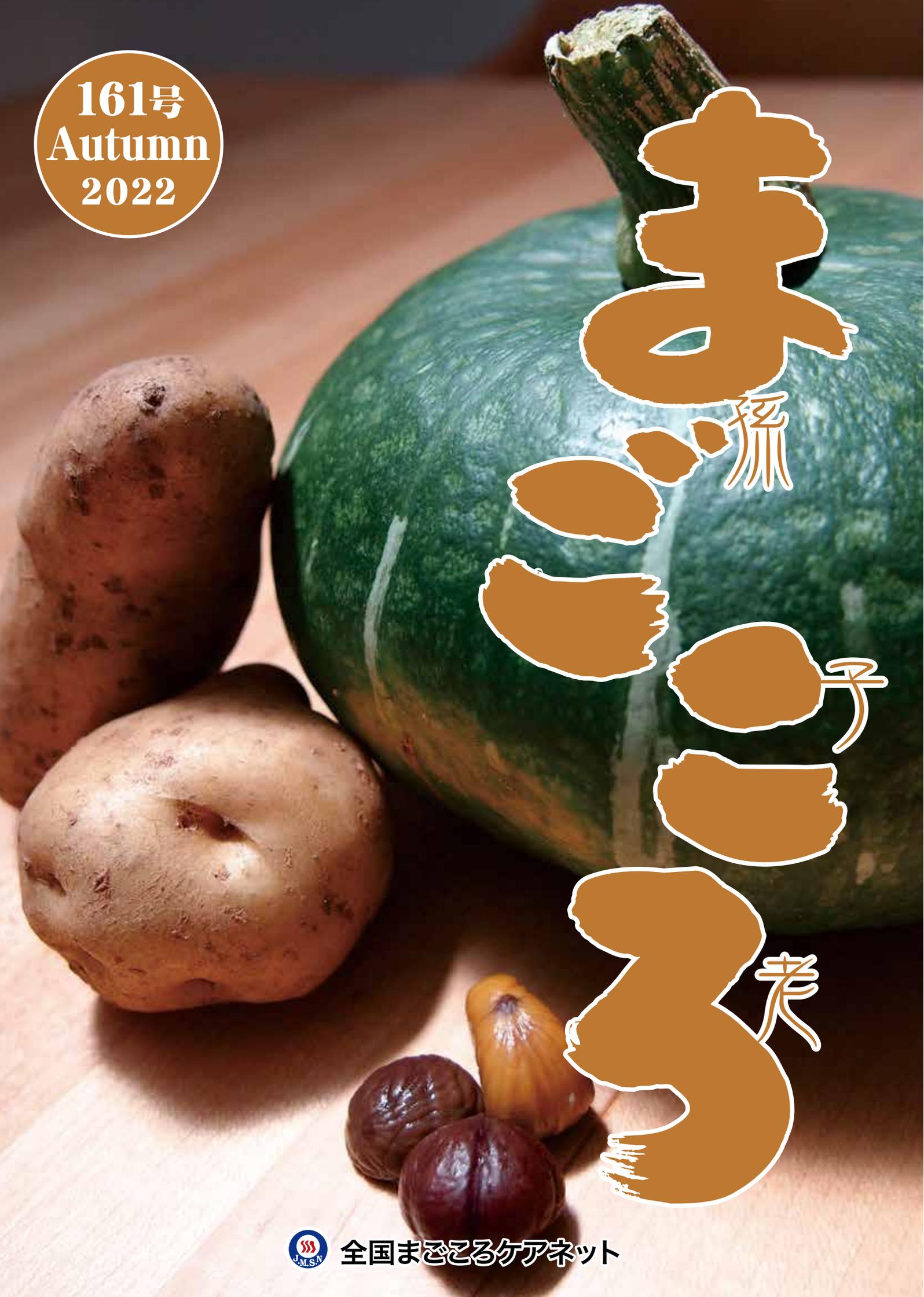


161号
Autumn
2022

ま
ご
ろ
ま



全国まごろろケアネット



秋の味覚

CONTENTS

巻頭言 一生懸命

孫子老だより ～健康管理はユーモアと笑いで～

2～4

日本の高齢化社会について

5

センターだより

6～9

まごころケア旭川

「秋の初めに」

まごころケア塩釜

「じいじに贈る絵」

まごころケアサービス福島センター

「地域の「花カフェ」をめざして」

まごころケアにこにこ三豊

「まごころケアサービスと介護保険」

まごころケア国分寺

「花と共に」

まごころケア西春日

「クラスター発生」

まごころケア高松

「草刈り」

寄稿「海洋環境」

10～14

事務局通信

15～16

一生懸命



特定非営利活動法人

日本ケアシステム協会

会長 兼間 道子

夏の甲子園、全国高校野球選手権大会は満員の観客での大会となった。昨年は、コロナウイルス感染防止のため観客制限での縮小開催、一昨年は中止だった。今年は3年ぶりの通常開催の大会で、選手はもとより大勢の応援団の入場など、一般ファンの参画状況も例年以上の盛り上がりだった。

大会終盤の準決勝は、宮城県、仙台育英高校と福島県、聖光学院高校の東北勢同士の組み合わせとなり、仙台育英高校が優勝の栄誉に輝いた。東北勢の優勝は大会史上初とのこと、健闘を称え心から拍手を送りたい。

地元香川県からは、優勝経験のある高松商業高校が出場し、テレビの前で観戦する私の声援は、いつもより増している。野球の練習に明け暮れている孫の日夜の営み風景が重なり、また、自身が体験した50年も以前の国体出場の開会式の入場曲も脳裏をよぎる。

高松商業は52年ぶりにベストエイトまで勝ち進んだ、私の声援は地元の皆の心と一緒に大いに沸いた。甲子園を目指して練習を重ね、この場に立っている選手は一握り。「血と汗の結晶」というフレーズがそのまま当てはまる。炎天下でひたむきに白球を追う姿に、感動の時間だった。

その都度、試合を終えるとサイレンが鳴る。選手たちはホームベースを挟んで整列し、帽子を脱いで試合終了の挨拶。勝ったチームは感極まって嬉し泣きしながら、ほころんだ笑顔で駆けだし、負けたチームは悔し涙で頬を濡らす、淡々と受け止めている冷静な選手がいるのも感動だ。選手たちの真っ黒に日焼けした顔が映しだされ、さらに観るものの心を感激へと誘う。応援席では、勝った嬉しさに骨が折れるほど抱き合い泣き崩れる応援者もある。親や兄弟、学友や地域住民もあろう。

選手たちは実に一生懸命、青春のエネルギーを野球に注いできたに違いない。楽しい時ばかりではない、多くの時間は試練に満ち、挫折しそうになった時もある。「甲子園でプレーしたい、勝ちたい」と、打ち込んだ日々は尊い。

今年の甲子園球児の3年生は、令和2年春の入学である。1年、2年生を含んで高校生活を「コロナ禍」の下で過ごしているということになる。世界的規模の新型コロナウイルスの感染による非日常のもと、様々な制約を受けながら一生懸命に打ち込んだ、すべての人へ「お疲れ様でした」と、心からテレパシーエールを送らせていただきたい。

まごころ 孫子老だより

健康管理はユーモアと笑いで

みなさま、お元気ででしょうか。

暑さ寒さも彼岸までとは、よく言ったものです。残暑で夜中も下がらない気温のせいか蚊に刺されることもなく、クモの巣に集まる虫も少なく開店休業状態から夜逃げしたクモの巣をたくさん見ました。まだまだ減ることのない新型コロナウイルスの感染者数ですが、行動制限も無い中では、仕方がないかと思えます。

私も、いつ感染してもおかしくないぐらいの周りで感染する人が増え始め、感染する恐怖もしかり、ただでさえ人手不足で忙しい仕事を7日間も休めるものなのか心配です。

わが人生最大の体重で、馬も

肥ゆる秋を迎えました。 趣味の登山は再開しましたが、この体型を直すには、エベレストぐらい目指さないと痩せる気配は見えません、給料も上がらず、食べる量も減っていないのであれば、物価高の影響で我が家のエンゲル係数は上がりっぱなしです。そのうちに経済破綻するのではないかと危惧しています。

小麦粉を使った食品などは、半年の間に、二回も三回も値上がりをし

ている有様で、うどん県のうどん屋でうどん小と天ぷら1個、おでん1本、おにぎり1個を食べようものなら800円くらいの出費になるほど値上がりしています。

値上がり前は、ワンコイン（500円）ぐらいで食べられていたのに、今は昔です。物価高で一番節約するのは、食費と思いますが、案外狙われやすいのは、お父さんの小遣いです。慎ましく働くお父さんがんばれ！

新型コロナに感染が判明して軽

症で自宅療養になった場合でも、生命保険の入院保障に加入していたら保険金が支払われると聞いて、保険屋さんに聞いたところ、大きな声では言えませんが、小さな声で聞こえない程度に申し上げますと保険金は出ます。ということでした。

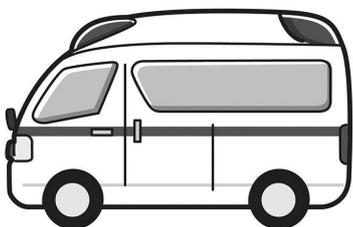
現在、保険会社は、この入院治療費の支払い手続きの事務処理で忙しいようです。ならば、保険金が出ることを知らないままの方たちは、高い保険料を払っているのに貰い損をするかもしれないということなので、どうでしょうか？テレビでもあまり報道されないので知らない人が多くいると

思います。

但し最近のニユースで保険料の支払いが予想を超える感染拡大に対応できず、支払い対象者を妊婦と65歳以上の高齢者にだけ払うように変更するようになるかもしれないと報道されていました。詳しくは、ご自身の加入されている保険会社に確認をしてください。

コロナ患者の搬送で救急車の

出動回数が増加し、コロナ患者以外の熱中症患者や他の救命救急の患者の搬送に支障が出ていると連日ニユースになっています。また救急車の隊員が消防署にその都度、戻って水分補給やトイレに行くことが、コロナ患者の急増で困難になっているため、各コンビニ会社と買い物、トイレ借用の協力を依頼したとの報



道もありました。連日市民の命を守るため頑張っておられる隊員の方々に頭が下がります。ありがとうございます。

ある日、ラジオを聞いていたら、ハワイの病院事情について話している内容が気になりましたので、紹介します。今現在ハワイの入国については、有効なワクチン接種証明書を保持している全ての帰国者・入国者については、出国前72時間以内の検査証明の提出を求めないことになったそうです。入国条件としては、公的機関発行のワクチン接種証明書（2回目の接種から14日以上が経過したことを証明する海外渡航用のワクチン接種証明書）があれば、ハワイに行くことができますので、非常に行きやすくなりました。

入国後の話ですが、8月末のハワイでのコロナ感染者数は、減少傾向にあり、2千人／日程度ということですので。

そこで話題になったのが、ハワイの救急車事情です。

ハワイで救急車を呼ぶと病院で他の患者より優先的に診察を受けることができますが、

救急車搬送は、すべて有料です。公的救急車と民間救急車が存在し、病院までの距離も関係しますが、公的救急車で最低1万円から、民間救急車を呼ぶと4万円から請求されます。

救急車は、高いので、自分で運転して行ったり、タクシーで行く人もかなりいるようです。この救急車の有料制度は、アメリカ本土も金額は、変わりますが、同じです。ハワイで入院した場合の1日の部屋代は、公的病院10万円から民間病院で14万円／日、盲腸の手術が300万円、骨折の治療費が400万円、ざっと日本の5〜6倍します。というのがアメリカの診察と治療は自由診療なので診療費は、病院が勝手に決めます。それでかなり高額になるのです。

日本国内において、電話しても救急車がなかなか来ない、病院に行くまで何時間も断られ搬送待機させられたとか救急車がコンビニへ寄ることとに違和感があるなどと問題にしています。これが自由診療のハワイだったら、皆さんどうされますか？ お金のない人は病気にもなれませぬ。ますます日本の救急隊の方々に頭が下がります。

いまだにお店のレジでの支払い時に、

トレーにてお支払いとお釣りの授受をさせていただきますと書かれていて、お釣りをトレーで受け取ることがあります。

普通に考えてみて、私が素手で握ったお金をトレーに置き、そのお金を店員の人が素手で握ってレジに入れ、お釣りを素手で握った店員さんがトレーに釣銭を置き、それを私が素手で取る。この一連の動作のどこが感染予防になっているのでしょうか？ ゴム手袋をしている店員さんにもいますが、素手の人がほとんどです。

汚れた手で蛇口を開けて、キレイになった手で、汚れた蛇口を閉めるのと同じことです。エスカレーターゴムの手すりを握った手や電車のつり革につかまった指で鼻くそをほじるのと同様です。また店内や車内で大きなくしゃみをするおっさん、デリカシーのかけらもありません。

また箱売りの不織布マスクのメーカーさんへ、いまだにマスクの前後がわかりません、マスク隅のどこかに前後の印字をお願いします。

コロナ感染者数の増加に関わらず、

行動制限が無くなり、私の職場でも連休を利用して旅行に行く人が増えてきました。訳あってシングルの中女子の同僚から北海道のお土産を頂きました。

食べ物、どれも美味しく、ラベンドー畑も素晴らしかったと興奮気味に話していたので、「誰といたの？」彼女「一人に決まっているやろ」私「エッ。一人じゃ寂しいやろ」彼女「あなたね。一人旅が寂しいって誰が決めたの？」私、余計なことを言ってしまった。「すみません」彼女「太郎さん、今度聞くときは、束縛も無く、自由に気楽な旅行でうらやましいわと言うものよ」私「ごめんなさい、発言に気を付けます」一人は寂しい、こういう発想は、思い込み、ややもすればセクハラ、自分の偏見は、相手の立場で考えるとその間違いにすぐ気付くものです。



まごからエッセーの紹介

第十五回 二十四の瞳岬文壇エッセー募集

最優秀賞 ●テーマ「祖父・祖母」

『ブラボーな抱擁』

山本 魁

横浜に住む孫息子とは、運動会や冬休みなど、折々にことよせて行き来するのが楽しみだった。それが中学生になった頃から交流の機会も対話もとんと無くなった。

ところが、高校に進んでサッカー部に入ったことで、その試合の応援という新たな張り合いができた。

共働きの息子夫婦は、我が子の試合に合わせた休みを取れなかった。従って、勤めから遠のき隠居同様の私は孫可愛さに、自分勝手に親の代理としての責務を負い、あちこちのグラウンドへ応援に通うことになったのだ。

とはいうものの、後期高齢者の領域に入った私には、思ったより辛いことだった。川崎の自宅から試合会場まで、電車を乗り継いで二時間余もかかる場合が多く、大抵、五時過ぎには起床を要するスケジュールだった。

それに多少の雨や寒風でも試合は

行われ大小各種とゲーム数が多かった。それだけ楽しめたが、老体を鼓舞する苦勞も比例した。

そんな私に「それもおじいちゃん役目でしょ」と女房が背中を押した。

この一つ年下の女房にしても、早起きして私の朝食の用意やときには弁当を作る。そして試合の結果よりも孫の怪我の有無ばかりを気づかう。

そんな私たち祖父母の思いや尽力を知っていたかどうか、孫からは何の音さたも無かった。孫への失望に近い物足りなさが募った。

今年もまた全国高校サッカー選手権地区大会が始まった。殊に今年は三年生の孫にとって最後の大会になる。この日、その二次予選の一回戦目キックオフの笛が鳴った。

私はいつものとおり、選手の父兄や学校関係者が声援をおくる場所から、やや遠く離れたところに立って一人黙々と応援した。

左サイドディフェンスの孫が、果敢に上がった戻ったりしている雄姿を、感激と期待の一念で追った。

0対0のまま後半戦に進み、押し気味で勝てそうだと思いい始めたとき、

アツと思う間もなくディフェンス陣の隙を突かれ、一点を与えてしまった。そして無情にもそのまま八十分間の試合終了の笛が鳴った。

「ああ、これで全て終わったな」と胸の中で呟いた。それは、孫の心中に去来するであろう寂寥感を思いやる気持ちと、自分への慰勞の感傷的な呟きだった。応援団が解散した。

今日が最後だし、孫に一言なりとも慰めの言葉をかけようかと、選手らの一団を見渡した。だがそこにも孫の姿はなかった。何とも寂しくやるせない思いが胸に広がった。

そのときだった。不意に「おじいちゃん、ありがとう」という低く野太い声が、耳の中に飛び込んできた。いつの間にか孫が傍に来ていた。

「負けてごめん」いきなり、私は肩ごと孫に抱きすくめられた。それは軽い乗りのハグのような仕草ではなかった。十センチほど私より背の伸びた孫からの、全く思いもしない抱擁にうろたえた。何か言わなければと言葉を探したが、とっさに見つからなかった。

「今日こそは勝って次もおじいちゃんに見てもらいたかったんだ、

だけど…」

「そうか、いいさ、よく頑張った。おじいちゃんはそれだけで十分楽しかったよ」

「三年間いつも応援に来てくれたね。ありがとう、おかげでいつも頑張れたんだ」

天にも昇るような嬉しい感懐が沸き上がってきた。三年間の私の気持ちがちがちゃんと届いていた。祖父の存在が認められていた。

思わず「ブラボー」と心の中で叫び、抱きしめ、愛しい孫の汗の匂いに酔いしれた。

孫がそつと身を離し、無言でチームメイトのもとへ去っていった。けれども、孫との深い信頼を覚えた抱擁の温かみは残った。

帰りの電車の中で、女房にいい土産話になると思った。だがふと、「あんたばかりいい思いをしてさ」と焼き餅を焼きそうな気もした。抱擁されたことは秘密と決めた。

まだまだ、コロナ禍は続きそうですが、みなさまの健康をお祈り申し上げますとともにいつか来る日常に期待を寄せ、お体にはくれぐれもご自愛ください。 孫子老太郎

日本の 高齢化社会 について



元香川県明善短期大学学長
農学博士・管理栄養士

川染 節江 さん

日本の高齢化は、世界に類を見ない速さで進んできました。国の総人口に対する65歳以上の人口の占める割合が7%から14%に達した所要年数を比較する資料があります。2019年版人口統計資料によると、日本はわずか24年間で1970～1994年に、ドイツは40年間で1932～1972年に、アメリカは72年間で1942～2014年に、スウェーデンは85年間で1887～1972年に、フランスは、115年間で1864～1979年です。

アジアでは、2015年時点で日本は26.3%、韓国は13%、中国は9.5%でしたが、この比率は急速に上昇し、2040年代には日本、韓国は30%台後半、中国も20%台後半に到達する見込みとされています。さらに2060年代には、日本は40%台に到達すると予想されています。

また、2021年9月公表の高齢化率は、日本が28.7%、イタリア23.6%、ポルトガル23.1%です。2018年3月公表の世界の少子高齢化ランキングでは、1位日本、2位ドイツ、3位イタリア、4位韓国、5位スペイン、6位ポーランド、7位シンガポール、8位カナダといずれの国も高齢化が進んでいます。

「人生100年時代」と言われ、至るところでこの言葉が目にとまっていることでしょう。語源的には、ロンドンのビジネススクールの教授により提案された事で、人生のシフトを主張されたものです。この主張が世界的に広がり、日本でも使用され、政府機関でも対策が検討されているのです。これまでは、人生を、教育を受ける時期、仕事を行う時期、そして退職して余生を送るという3つのコースで考えられていました。が、新しい考え方では、それぞれの時期に多様な生き方が選べるというスタイルの変化です。特に、定年後に再び大学や専門学校に入学して学び直す、リカレント教育や新しいビジネスを起業する若者も始まっています。

私は、長らく香川県長寿大学の講師を務めています。80歳以上の方も熱心に、また、現役時代には重要なポストに座していた方々もいます。講義内容では、健康維持・増進、Q・O・Lの向上、認知症予防対策などに感心が高いようです。100

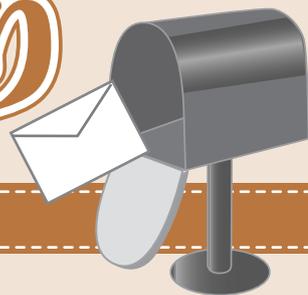
年という長い新時代ではこれまで以上に心身の健康が重要であり、人生の幸福度の基本条件になります。

2013年に公表されている「健康や香川21ヘルスプラン(第2次)」では、65歳以上の高齢者に対し「生きがいを持って楽しい毎日を！」をテーマに、積極的な社会参加や、ふるさとの食文化を次世代に伝えよう、などと実体験が示されています。そこで、最後に私が考え提案している、新時代のライフプランを述べてみます。

- 1ヘルスプラン(健康・生活技術の向上)
- 2ワークプラン(仕事、ボランティア、趣味)
- 3マネープラン(老後生活費の試算、50歳代から始めよう)
- 4ヒューマンプラン(家族や友人との絆を大切に)
- 4プランニングです。今後の生活環境は、益々、国際化とAI化が進む筈です。社会の変化に遅れずに文化交流に参加し、高齢期を楽しみつくすという意欲を持ち続けたいと考えています。

お読み下さった方々に少しでもお役に立つことがあれば幸いです。

センターだより



まごころケア旭川

秋の初めに

武田 明子

9月初旬、澄み切った青空にトンボが群れをなして飛んでいます。戦国時代の武将は一心不乱に同じ方向を指して飛ぶトンボに我が身を重ねて愛したとか。何やら生き急いでいるようで悲壮感が漂います。あと一月もすると旭川では雪虫が飛び交い、程なく本物の雪が降り始めます。トンボ達に冬の準備は大丈夫かと急かされているように思えるこの頃です。今年は昨年の猛暑と打って変わって過ごしやすいい夏でした。それだけに冬の厳しさが思いやられませぬ。

コロナ第7波はようやくピークを過ぎたようです。でも、旭川はどうした訳か高止まりが続いています。札幌などでは明らかに減少傾向がみられるのですが旭川では一日に600人を超える感染が報告されることもあり、終息の見通しは全く立ちません。6波までは感染者が利用者であったり、家族の職場の方で

あったり、少し距離があったように感じていましたが、今回はヘルパー3人が相次いで陽性になりました。感染経路は別々で、いずれも軽症で済んだことは不幸中の幸いでした。

旭川センターでは各自3個ずつの抗原検査キットを配布し、管理者の指示のもとに一齐に検査をしたり、発熱者は必ず管理者に報告し指示を受ける体制をとってきました。市から感染症予防対策支援金を受け、更に検査キット等の整備を進めています。このような状況で感染を拡げない準備や努力と共に、ケアが途切れないよう全員で持ちこたえる団結力が発揮されています。これまで以上に皆さんの協力で感謝の日々です。しかし、コロナ感染を警戒してケア休止をなさる利用者もおられ、まだまだ難しい日々が続きます。利用者には勿論、スタッフの健康を守るために何ができるのか挑戦が続きます



まごころケア塩釜

じいじに贈る絵

千葉 光子

主人が突然旅立った時、高校生の孫が「天国に一緒に持って行ってあげて」と一枚の油絵を持ってきました。画面いっぱい青空が広がっているわが家の絵でした。どんな気持ちで描いたかは聞いていません。

主人は生前、ウクライナの子どもたちが地下鉄の駅に避難している様子を見て「地球上から戦争がなくならなければ子どもたちの未来はない」と話していました。青空の下、自由に遊び遊べる平和な明るい未来がやってくることを一番に願い、戦争を語れる自分たちが子や孫に平和の尊さを話してやらなければと夫婦でよく話していました。そんな時、仙台で宮城平和美術展があることを知り、出来栄はともかく、孫の絵を出品することにしました。

じいじ、そこから絵は見えますか。あなたが望んだ平和への気持ちは孫たちに受け継がれていますよ。青空が見え、安心して暮らしていける社

会であるように、どうか孫たちの成長を見守ってください。お盆にはこちらに帰ってきて、7人の孫たちに平和の話をいっぱいしてください。平和を願う気持ちを忘れないように家に絵を飾って待っています。

*8月15日の地元紙「河北新報」に掲載されました塩竈センター千葉理事の手記となります。時期はずれておりますが、想いは世代を超え受け継がれていくことを皆様にご紹介いたしたく寄稿いたします。(門脇)

まごころケアサービス 福島センター

地域の「花カフェ」をめざして

須田 弘子

私達の施設は、今から十八年前縁あって富士さんという方から、元ドライブインだった土地・建物を格安でお借りして今日にいたっています。コツコツと荒地を耕し建物を整備して来ました。七六〇〇㎡(二三〇〇坪)は法人にとって途

てつもなく広過ぎ贅沢とっていません。

今は亡き富士昭子さん、まごころサービス活動だから使つてと、優しい笑顔で数々のご支援を頂き、決して忘れる事はありません。「地域に開かれた施設をめざし、誰もが自分を生かして幸せに暮らす活動を続けて参ります」が最後のお別れの言葉となりました。

高齢者デイサービス憩いの場として、学童の子ども達は木々や花の回りを飛び回り、スタッフは働く意欲とやりがいを見出し、まさに孫子

老を地で行くみんなのもう一つの居場所ではないかと思えます。積雪から解放される四月、やっと高湯の里に春がやって来ます。古木八本に満開の桜、多種五十本の花ももは本当に見事です。道々に咲くレンギョウ・チューリップ・水仙・パインジー・ムスカリ芝桜等々色とりどりの花々は私たちを癒してくれま

す。施設入口に機関車一台、そこから奥に一〇〇m足尾神社、更に一〇〇mトレーラーハウスが「花カフェ」会場となります。あづま屋から福島市街展望、シンボルの信夫山が見えます。現在、環境部会により木道も中々良かったのですがコンクリートに改修中。バリアフリーにしてもつと沢山の方々において頂き、「みんなの花カフェ」で地域の賑わいと、福島センター福祉啓発事業に会員共々取り組んで参りたいと考えております。

まごころケア にこにこ三豊

管理者 田井 美貴子

私は、にこにこ三豊で訪問介護の管理者をしています。

先日、市の地域包括支援センターから「まごころサービスを使われていたA様が介護保険申請をし、要支援になりました」と連絡がありました。この様に、まごころサービス利用の方がほとんど介護保険に移行します。約三割の方が介護保険のみ、あとの七割の方はまごころサービスと両方利用されています。なお数名の方がそのまま、まごころサービスのみを利用されています。

介護保険の予防訪問介護になると、週に入れる日数が決まっております。支援内容についてはケアマネージャーとご本人、ご家族が話し合っ



いた事が出来なくなる事もあり、申し訳ない気持ちになります。

ヘルパー側としては介護保険、まごころサービスの違いはあってもケアをする気持ちは同じです。一人ひとりの利用者様が、自宅で自分らしく安心安全に過ごせる様にと常に考えています。訪問した時の様子や気になる事、次の訪問までを想像して、転倒しそうな所はないか？食事は足りているか？水分は？また、ケア中の会話から利用者様の思いを訊いて伝えてあったりなど、事務所でヘルパー達の談義が始まります。ただ、今はコロナ禍なのでヘルパー全員（27人）で集まることができず残念です。

これからも仲間たちと楽しく、同じ思いを持って介護に携わっていきたいと考えています。

まごころケア国分寺

花と共に

会長 川上 美佐子

私は植物が大好きで、毎日の水や

りは楽しい日課です。多肉植物を増やしたり、花を挿し木にして増やすのが得意で、増やしては知り合いに差し上げています。

まるで大切な子供を養子に出すような気持ちです。

一方『花や食べれん。』と言う夫は、畑で野菜や果物をせっせと育て、ご近所の皆さんに配って楽しんでいきます。

いつまでこんな生活が続けられるか分かりませんが、誰かの役に立つ人生を、これからも送れたらと思っています。

まごころケア西春日

クラスター発生

センター長 笠井 圭介

9月8日現在、ようやく沈静化してきたオミクロン株ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

8月18日、まごころケア西春日事務所のある施設でもクラスターが発生しました。利用者様の一人が熱発、かかりつけ医の指示のもと、検査を

行った結果、陽性反応。同時に、同じフロア内の8名の利用者様の感染が判明しました。事前に準備していたマニュアルどおり、高松市の介護保険課や保健所に連絡、緊急時の体制で入居者様のケアを行うことに。

感染拡大防止のため、利用者様はそれぞれの居室で過ごしていただくのがルールです。入浴はもちろん中止、食事や排泄は、居室で行います。洗濯物はいったんビニール袋に密閉し、72時間保管した後に洗濯。食事は使い捨ての食器で行いました。

保健所や市役所などの所轄行政からは、日々の報告を求められ、その対応にも追われました。介護を担っ

ている職員も次々と感染、人手不足が深刻化するなか、様々な方から温かいサポートをいただき、なんとか法定隔離期間の10日間を乗り切ることができました。

今回の出来事を通して実感したことは、普段からの感染対策、特に十分な換気の大切さ、そしてなにより皆さんから寄せられた、温かいご支援に対する感謝の気持ちです。大変ながらも貴重な体験をさせていただきました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

感染の第7波はまだ続いています。これからも感染対策を徹底して入居者様を守っていききたいと思いま



す。皆様もどうぞお元気で、感染から守られますことを願っています。これからもよろしく願います。

まごころケア高松

草刈り

兼間 和行

高松センターでは、毎月末、事務所周りの清掃をします。外回りには小さな花壇や未舗装の駐車場があって、もっぱら草抜きが主な作業です。春先から夏にかけては草との競争です。

人力だけでは限度があり、私は草刈り機で草を刈る担当です。若いときから草刈り機は使ったことがなく、まごころでお世話になってから使いました。もう十数年選手となり、熟練技能者と言っても差し支えないでしょう。

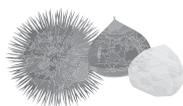
ご存知かと思いますが、草刈り機はエンジン音が高く、結構うるさいので近所迷惑にならないか心配しながらの作業です。最近は充電式の電動草刈り機が販売され、早朝などは

重宝しています。でも、バッテリーの容量が1時間弱と短く、長時間の作業ができないのが欠点です。

あるとき「草刈り機を使ってみた」という人がいて、やらしてあげたところ、その人が「草刈りって、ハマるなー」と言いました。個人差はあると思いますが、草刈りって結構ハマる（夢中になる）のです。

もちろん、暑いときは大変です、炎天下を避け、水分補給しながら作業しますが、それでも汗が滝のように出ますし疲れます。でも、30センチもあるうかと思う、草ぼうぼうの土地が、草刈り機でみごとにすっきりした時、こちよい爽快感や達成感が味わえます。

そんなに難しいことではありませんので、一度体験されることをお勧めします。その節は、もちろん熟練者の指導の下長靴を履いて、防護眼鏡をつけるなど、しっかりと安全対策をすることを忘れないでください。



草刈り後



草刈り前

瀬戸内国際芸術祭 2022 へのご案内

今年瀬戸内国際芸術祭2022が開催されています。この芸術祭は、瀬戸内海にうかぶ12の島々と2つの港を舞台とした現代アートの祭典で、2010年（H22年）から3年毎に開催されていて、今年が第5回目の開催です。春、夏、秋と3期に分けて開催され、残すところ秋会期（9月29日～11月1日）のみとなっています。

瀬戸内海は、わが国の有史以来、源平、室町、戦国時代において合戦や争奪戦が繰り広げられるとともに、北前船の商業活動や朝鮮通信使による大陸文化の伝承などにおける海運交通の動脈として大きな役割を果たしてきました。

しかし近代以降、工業開発や海砂利採取などによる海洋環境の悪化や人口の減少などにより島しょ部をはじめとした地域の活量が低下してきました。

島のおじいさんおばあさんの笑顔を見たい、そのためには人が訪れる「観光」を通じて島の将来の展望につながるって欲しいとの思いで、「海の復権」を掲げて開催しています。展示作品の中には期間中でなくても鑑賞できる作品がいくつもありま。詳しくはウェブサイトなどをご覧ください。詳しくはウェブサイトなどをご覧ください。

寄稿 「海洋環境」

寄稿者：野上和平

私たちが出したゴミや排水による環境破壊のひとつとして、プラスチックなどによる海の汚染が問題となっており、早急に対策を講じなければといわれています。

この課題について高校の卒業研究（卒業プロジェクト）として取組んだ成果について寄稿があったのでシリーズでお送りします。（文中12年生とは高校3年生のことです）



・草地ゆきさんのお話

・人と海との関わり、そして

海の魅力を探す

・「大阪海さくら」

代表那須睦美さんのお話

・秋休みの企画

・秋休みの企画を終えて

草地ゆきさんのお話

八月二十六日、渡辺早苗先生のご紹介で、沖縄県のスキндаイビング（スクーバなどの水中呼吸装置を使用せず、自分の息だけで潜水すること、素潜り）スクール「ダイブステーションベース」で講師をされている草地ゆきさんにインタビューをさせていただきました。

今回は新型コロナウイルスの影響でズームでのインタビューだ。事前の連絡はメールだけだったため、打ち合わせがうまくいかないこともあったがとても丁寧に対応していただいた。自分が思っていることをうまく表現できていない頃のインタビューだった、うまく話せていなかった私のインタビューに本当に丁寧な返答をくださった。

インタビューの詳しい内容

Q…草地さんのお仕事の内容を教えてください。

A…素潜りのレッスントツアーの案内をしています。特にイルカと泳ぎたいと思うお客さんが多いのでその案内が多いですね。

Q…海に関わるお仕事を始められたきっかけを教えてください。

A…旅行先でスノーケリングが楽しく、海の美しさ、楽しさを感じたことがきっかけ。単純なことだけど海にはスノーケリングやダイビング、イルカと泳ぐなど楽しいことがたくさんあったんです。

Q…海の何が草地さんを楽しんでいるのか教えてください。

A…いくつもあるんですけど、一番は普段と全く違う世界に入ることができる。普段の生活では仕事先から電話がかかってきたりとか色々あるけど、海に入るとそういうことが全てシャットアウトされるんです。日常から完全に切り離されるんです。それがすごいなと思います。

あと生き物が可愛いです。海の生き物も一生懸命生きてるんです。

よ。すごく小さい生き物も流れに耐えて泳いでいたり、貝が小さな卵を少しずつ健気に岩に産んでいたりとかね。

Q…近年、海洋ゴミ問題が表面化しつつある中で海のゴミの現状についてどう感じておられますか。

A…正直海のゴミはめちゃくちゃ多いです。人が出入りしてる海や海岸はそんなにゴミがない場合も多いんですよ。人があまり入っていないような場所に行くときびっくりするぐらいゴミが溜まっている。

やはり人がたくさんいるところでは誰かしらが拾っている可能性があるあるんです。それはボランティアかもしれないし、業者かもしれないし、行政かもしれない。つまり私たちが見ている海は本当に一部だと思えますよ。だから私たちの見えていないところのゴミの量は本当に物凄いだらうと思っています。おそらく海の中はひどいことになっていると思います。

Q…今このゴミ問題を解決するためにはすべきことはありますか。

A…一番効果的なのはやはり使い捨てをなくしていくこと。プラゴミ

もりサイクルがうまくいっていない実情があるじゃないですか。

だからもうポイ捨てとかそういう細かいレベルの話ではないと思います。私も少し前まではポイ捨てしてないから大丈夫、リサイクル出してるから大丈夫とそう思ってたんです。今でもそう思っている人けっこう多いんじゃないかな。

でも実際は（そういった考えとは）全く違ってすごくショックを受けた。だからもうみんなで生活を変えていくしかないと思います。

Q…草地さんにとって海はどういう存在ですか。

A…そうですね。いろんなことを気付けてくれる、教えてくれる場所かな。

Q…それはいったいどんなことなんでしょうか。

A…例えばこういういった海の環境のこととか、生き物のこととか考えるきっかけをもらえる場所で、海に入っていないければ当然気づけない。また私はお客さんと海に入るわけですよ。するとお客さんがまた別の視点で海を見るわけです。それによってまたそういう視点もあつたんだと気づくこともありますね。直接的に教えてくれるのはお客さんだったりすることもあつたけど海はそのきっかけを作ってくれるんですよ。そして同時に自分の気持ちを新しくリフレッシュできる場でもあるんですね。

Q…高校生の私たちに伝えていただけることがあればお願いします。

A…私たちが高校生の時は環境問題に関する情報とかも少なかったんですよ。そして、若い世代に申し訳ないことに、気が付けないこともたくさんありました。はっきり言って私たちの世代が自然を変えてしまつて申し訳ないと思つている。

だから逆に今の若い世代には自分で情報を仕入れて、考えて、行動して欲しいと思います。ただ情報がありすぎて難しいこともあると思う。だから自分で正しい情報についてきちんと冷静に考えて欲しいと思う。物事にはいろんな見方があると思うんですよ。やっぱりそれがとても難しい問題で、入れた情報を鵜呑みにしないで欲しいというのはありますね。その情報について一度立ち止まつて冷静に両方の側面から見ることが大切だと思いますね。

例えば、太陽光や風力などの自然エネルギーでも太陽光パネルなんかで自然を壊してしまうという意味がないじゃないですか。でも自然エネルギーは取り入れて行かなければいけない。そういう時に何が正しいのかを見極める必要があると思います。

最終的にはバランスだと思っけどそれぞれ逆の視点に立つとどちらも正しい部分と間違っている部分とあると思うんです。結局はそれを自分自身で考えて自分の納得できる答えを見つけることが大事

なんじゃないかなと思います。

Q…その他私たちに伝えていただけることがあればお願いします。

A…さっきの海のゴミ問題についてもう少しお話ししますね。残念だけれどもうなつてしまったものは今の行動で取り返していくしかないですよ。でもだからと言って今の暮らしをそんなに大きくは変えられないじゃないですか。私自身も百パーセント（ゴミを出さない）の生活ができていない訳じゃないですよ。

洋服や日用品なんて挙げ出したらキリがないしね。だからその中で何ができるかだと思つて無理しない範囲で自分のできることをする。それを長く続ける。そしてできることつていうのは一度やってみると意外と広がったりする。それで無理だったら無理する必要はないよね。みんながみんなそれができるようになつたら何か変えられるんじゃないかな。

そしてそれを発信してその輪を広げることが大事です。私が（あまり親しくない）遠い人に活動しよつていうのと友達が言うのでは



意味が全然違ってくるよね。そう言う繋がりってすごく大事だと思います。

その話をできるだけ大きく広げていってくれたらいいなと思います。今のみんなならできる。今の子どもたちは昔とは違う新しいパワーを持つてると思うので頑張ってくださいね。

Q…ありがとうございます。
A…ありがとうございます。

人と海との関わり、そして海の魅力を探す

私にとっては短い夏が終わりました。この夏は毎月の「大阪海さくら」の活動に加えて、三月ぶりに神奈川県江ノ島の「NPO法人海さくら」に参加させていただきました。今回は清掃活動の参加のみでした。今回は夏の海水浴シーズンという事もあり、かなりの人数が参加していました。またスキューバダイビングのプールの方にインタビューにもご協力いただきました。

様々な方と出合いのあった夏を経て、私の中で疑問になっていたなぜ人は海に引かれるのか、あれだけ楽

しそうに活動できるほど「海が好き」というのはいったいどういう事なのかという問いが形になるうとしていました。

その時すぐ言葉にできるほどの答えが出るには至りませんでした。確実に私は何かを掴み始めていました。それは私が海に行くのが楽しいと感じた時だったり、海さくらさんでの活動中他の参加者の方との会話が弾んだ時だったりしました。はたまたゴミが散乱している浜を見て怒りや虚しさを覚えた時かもしれない。そんな海への向かい方の意識の変化が、私に何か新しいものを見せようとしていました。

その新しい意識が活動している方々のいう「海が好き」という事なのかもしれないと考えるようになりました。今までインタビューさせていただいた方々や、活動の参加者の方々とはこの感情は異なるのかもしれない。しかしもちろん答えなどというものはありませんから、この意識の変化は私の中では大きなものでした。

海が好きであるという気持ちを持つことができればそれが汚れていく

のが嬉しいわけはありません。海を好きになることができればデータや資料などを使って危機感を煽らずとも、海のゴミ問題の重要性を伝えられることができるのではないかと考えるようになりました。私は「海を好きになってもらう」ことが重要性を持つようになるのではないかと考えました。

そこで秋から本格的に考え始めたのが「海に実際に行く企画」という選択肢でした。以前から何か参加型のイベントを開催したいと考えていました。具体的などんな形にするかのイメージが付かずにはいまました。そんな時に企画という案が浮かんできたのです。また海を好きになってもらうという方針から、参加者を募って実際に海に行き、自由に楽しんでもらうという企画を開催しようと考えようになりました。

「大阪海さくら」代表那須睦美さんのお話

九月十九日にいつも「大阪海さくら」の活動でお世話になってる、代表の那須睦美さんにお話を伺った。以前から活動がある時に雑談程

度にお話をさせていたただいていたが、今回改めてお話を聞くことができた。

今回のインタビューは大阪海さくらで知り合った大学生の方と二人で企画し、インタビューの動画も撮らせていただいた。このインタビュー動画は大阪海さくらのユーチューブチャンネルにも投稿し、大阪海さくらの活動紹介にも使っていたことができた。

インタビューの詳しい内容

(この活動を始めるしばらく前に) 一人で世界一周、十八カ国回ってきたんですよ。その時常にあったのが海なんです。悲しかったり、寂しかったり、嬉しかったりどんな時も海があつて、海を眺めてやっぱ海はすごいなと思っていました。

また(地元)大阪十三のファンダンゴって言うライブハウスで二年間働いてました。そんな感じで音楽の仕事もしていた。そんなある日、友達からそのファンダンゴから出たピアニストが江ノ島の海さくらってのを手伝っていると聞きました。その友達から海さくらってという環境団

体がゴミ拾いしたあとコンサートとかして見るから見に行こって言われたんです。その時はボランティアなんて興味ないと言ったんだけど、仕事もひと段落ついたので三、四年後に一度行ってみたくて。

午前中はゴミ拾いをして午後からコンサートをするんですけどもうそれが凄くてミュージシャンが髪をなびかせてギター弾いて、それで夕方四時ごろ大きな夕日と富士山が見えた。これで完璧に私の大好きな海、音楽、富士山が揃ってノックアウトされたね。それでこれ大阪でもやろうと思って。海と音楽がつながって海をきれいにできるんだ、これは素晴らしいと。

そして海さくらを大阪でもやっていいかなと代表に聞いていいねとあって立ち上げたのが第一号の「大阪海さくら」。その江ノ島の海さくらをやっている主旨が私と共通してたつていうか。単に「ゴミを拾って海や街をきれいにしましょう！」っていうのではなくて、この大好きな海を守ろう、海にゴミを行かせないようにしようっていう気持ちから始まった。

大阪が地元なんで大阪湾ってのはずっと私の中にあって、その大阪湾にゴミが行ってしまうのが嫌だったし、ゴミのせいで生き物が死んでしまふのが嫌だった。江ノ島の海さくらはきれいな海にしか住まないタツノオトシゴを復活させるっていうアイコンを持って活動していたので大阪海さくらも何か具体的な目標立てられないだろうか。それであるエコス쿨の海洋学科の先生に会いに行つたんですよ。そしたらその先生が「アマモ」っていう海藻の一種が今急激に減っていて僕たちはそれを増やそうとしてるって言つたんですよ。

アマモは魚の揺籠とも言われていて魚やイカの産卵に非常に適した海藻なんです。でもよく考えてみればアマモって昭和の中頃までは海行つたらそこら中であつて脚に絡み付いて気持ち悪いし船のスクリューに絡みつくから漁師さんにも嫌われてたんですよ。でも大阪湾や東京湾みたいな都会の海では砂浜がどんどん開発で無くなつて。大阪市って海に囲まれてるのに砂浜が一センチメートルも無い。そんな大阪でアマモを育て

たいつてことで大阪海さくらではアマモをアイコンに活動してるんです。実際アマモが増えると漁獲量も上がるっていう研究とかもあるんです。

そういうことをしに明石に行つたり岸和田の人工浜に行つたりして頑張ってるんだけど海は陸と違ってやっぱり水温とか潮流とか考慮しないとイケないものも多くて十年間やってまだまだこれといった成功作はないんですよ。漁師さんや漁港なんかにも協力してもらってるけどなかなか難しいことも多いね。



「大阪海さくら」代表の那須睦美さん。大阪海さくらを立ち上げられた本場に活動的な方だ。一方で、お茶目で面白くとても「大阪的」な人間性の持ち主でもある。

秋休みの企画

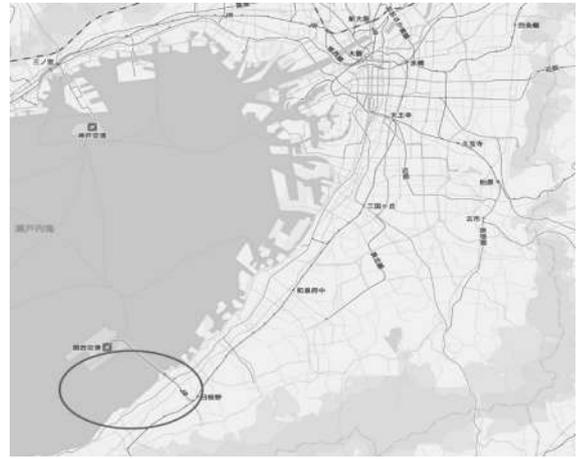
最終的なイベントを十二年生の冬に行うことを決めました。そこでその予行演習も兼ねて秋休みの十一月五日にクラスメート限定の「みんなで海に行き海沿いを歩く」というイベントを企画しました。コンセプトは「海を感じてもらおう」ということです。これまでの活動でゴミ問題に意識を向けるためにはまず海の魅力を知ることが最も重要だということに身染みて感じていました。

そのためゴミ問題とは直接的には関係ありませんが、散策という方法ならば「海を感じ」てもらえるのではないかと考えました。具体的な内容は海沿いを駅からビーチまで散策するというものです。

散策の経路と企画の詳細

京田辺駅からJR大阪駅、新今宮駅を経由してりんくうタウン駅を目指す。

またりんくうタウン駅のある泉佐野市から泉南市の人口ビーチ「マーブルビーチ」という浜まで歩くことにした。ビーチに着いたあとは自由に遊んでも良いという企画にした。



秋休みの企画を終えて

今回の企画について参加者にアンケートを実施しました。

海を感じる事ができたかという質問にはほとんどの参加者が「はい」と答えてくれました。海を感じる事ができた理由としては、実際に海に行って歩いたり遊んだりできたことや匂い、景色などが多数を占めていました。

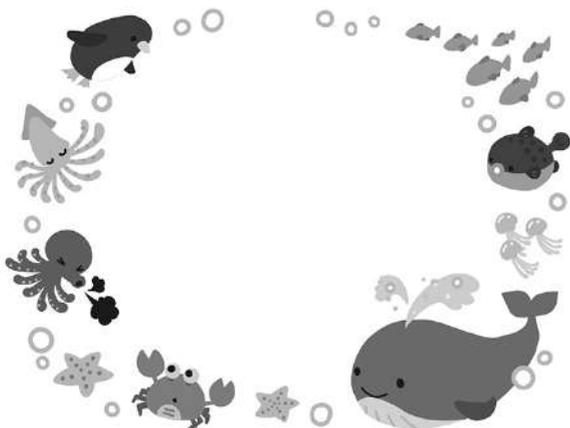
一方、いまいち感じることができなかったという人の理由として「歩いただけだったから」という意見がありました。私は歩くということとは



その空間を満喫することにおいても効果的な方法だと考えていたので歩くだけでは駄目だという意見は貴重でもありました。

また参加したクラスメート全員が現在の海洋環境について思うことがあると回答していました。実際に海に行った時にゴミを見たり、ネットなどのメディアを通したりして、環境問題についての情報を知っておりみんなの意識の中にゴミ問題があることを感じました。

そして今回の企画が海洋環境についての考えに何か影響を及ぼしたかという問いには半数以上が「はい」と回答しました。実際に大量のゴミを見たりした訳ではありませんが、「こんな綺麗な海が汚れるのは嫌だ」と言っている人もいました。実際に捨てられているゴミを見なくても海に行くことで海を守ることの必要性を考えるきっかけになれば良い、ということが今回伝えたかったことでもあるので、その目的は達成することができたのではないかと思います。



JMS (日本ケアシステム協会) 事務局通信

令和4年秋号をお届けします。今回も各センターの皆様方にご協力いただきありがとうございました。

令和2年春から始まったコロナ禍、前回の夏号で「徐々に行動制限が緩和され今年は全国各地で夏祭りが実施される模様ですがまだまだ油断はできません」と書かせて頂きました。

しかし、今年の夏は過去最大の感染の波が来てしまいました。近隣の介護施設や病院などでクラスターが発生しました。本日9月15日現在、新規感染者の数は少し落ち着きを取り戻しつつありますが、対応に当たられた関係の皆様方には大変なご苦労があったことと思います。

活動報告の集計結果

さて、各センターから毎月ご報告いただいている活動報告の集計結果をご報告いたします。

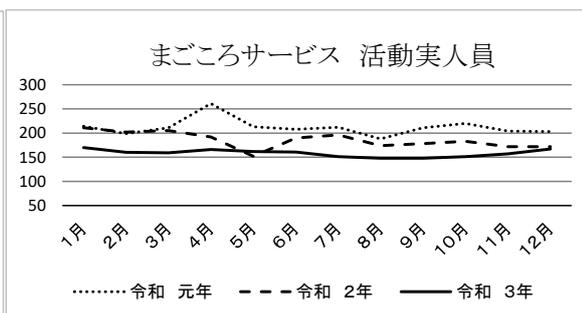
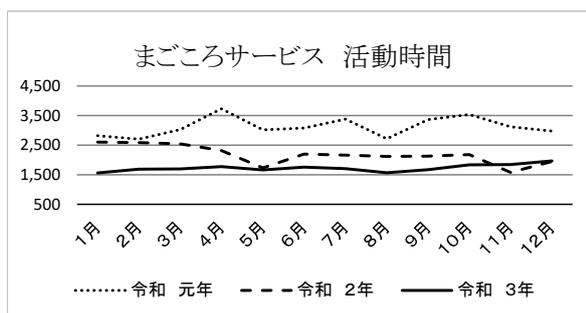
各部門とも全てのセンターの合計数値ですが、コロナ感染の無かった令和元年と感染の影響を受けた令和2年、令和3年とを比較してみました。なお、令和3年5月に退会された徳島センターのデータは集計から除いています。

・「まごころサービス」は、活動時間、活動人員ともにコロナ感染の影響を受けた令和2年、3年が元年を下回って、そのことが現れています。

日本ケアシステム協会 全センター集計データ (まごころサービス)

活動時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	2,700	2,595	2,881	3,556	2,870	2,968	3,251	2,596	3,246	3,417	2,996	2,847	35,923
令和 2年	2,511	2,474	2,454	2,229	1,656	2,067	2,046	2,000	2,025	2,078	1,486	1,856	24,882
令和 3年	1,475	1,615	1,698	1,714	1,666	1,755	1,708	1,567	1,669	1,837	1,846	1,968	20,518

活動実人員	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	205	188	200	250	201	197	201	177	200	209	194	193	2,415
令和 2年	199	191	195	184	146	182	179	166	171	176	166	165	2,120
令和 3年	164	155	159	163	162	161	151	148	148	151	157	167	1,886

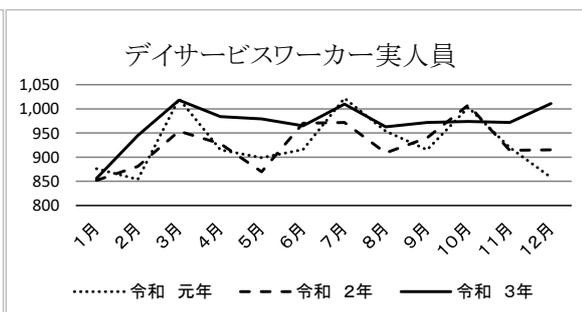
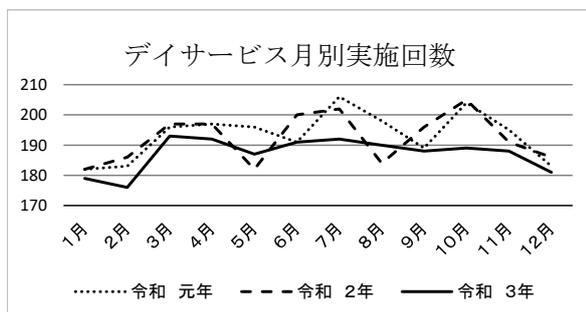


・「デイサービス」は、月別実施回数及びワーカーの人員において、令和2年は元年に比べ目立った現象が見られませんが、令和3年においては全体に月別実施回数が減少しています。しかし、ワーカー人員は令和3年が逆に元年、2年を上回っている傾向にあります。これはコロナ禍のもと何らかの要因で多くの人員が必要であったとの集計結果となっています。

日本ケアシステム協会 全センター集計データ (デイサービス)

実施回数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	182	183	196	197	196	191	206	198	189	204	195	183	2,320
令和 2年	182	186	197	197	182	200	202	184	196	205	191	186	2,308
令和 3年	179	176	193	192	187	191	192	190	188	189	188	181	2,246

ワーカー実人員	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	876	854	1,021	915	899	916	1,022	954	915	1,003	920	858	11,153
令和 2年	852	881	954	928	870	970	972	909	940	1,008	914	915	11,113
令和 3年	856	945	1,018	984	979	965	1,010	963	972	974	972	1,011	11,649

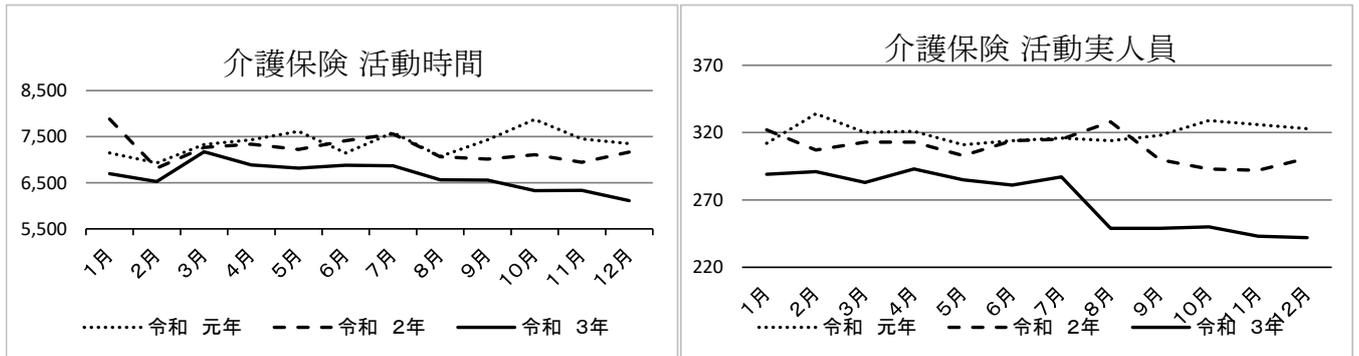


・「介護保険」「障がい者自立支援」は、活動時間、活動人員ともに令和2年、3年が元年を下回っていて、特に令和3年はその影響が強く出ていることが読み取れます。

日本ケアシステム協会 全センター集計データ（介護保険）

活動時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	6,921	6,731	7,116	7,243	7,382	6,956	7,350	6,869	7,213	7,629	7,219	7,110	85,739
令和 2年	7,003	6,588	6,998	7,147	6,957	7,146	7,306	6,846	6,746	6,840	6,720	6,916	83,213
令和 3年	6,461	6,289	7,173	6,884	6,820	6,881	6,866	6,561	6,555	6,329	6,336	6,112	79,267

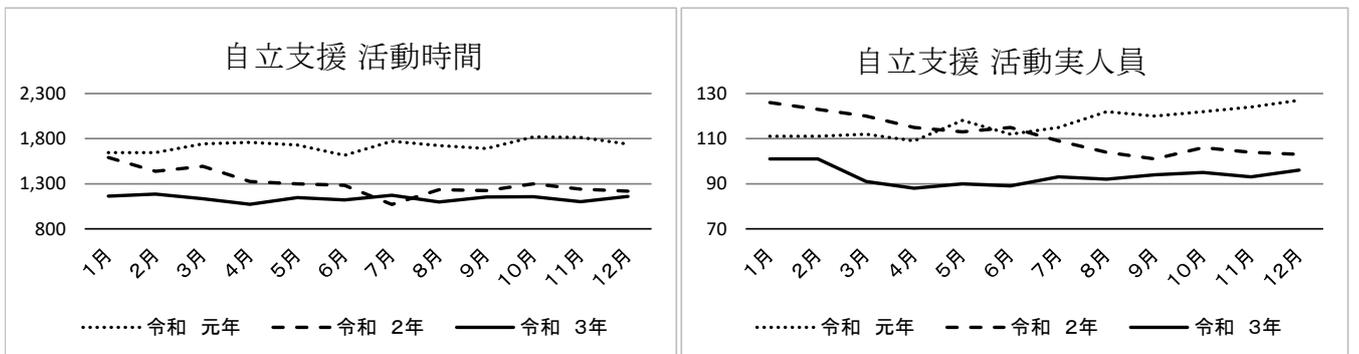
活動実人員	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	302	324	320	314	300	304	305	304	308	319	316	313	3,729
令和 2年	311	297	303	304	293	305	306	319	291	284	283	292	3,588
令和 3年	281	283	283	293	285	281	287	249	249	250	243	242	3,226



日本ケアシステム協会 全センター集計データ（障がい者自立支援）

活動時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	1,487	1,444	1,540	1,564	1,460	1,425	1,536	1,506	1,457	1,589	1,607	1,507	18,122
令和 2年	1,433	1,266	1,271	1,152	1,136	1,164	947	1,099	1,102	1,172	1,127	1,084	13,953
令和 3年	1,061	1,074	1,134	1,072	1,146	1,122	1,171	1,098	1,153	1,156	1,100	1,158	13,445

活動実人員	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和 元年	106	104	105	101	111	105	109	113	113	117	120	121	1,325
令和 2年	119	115	112	108	108	111	104	98	94	99	98	98	1,264
令和 3年	96	95	91	88	90	89	93	92	94	95	93	96	1,112



事務局からのお願い

様々な情報がウェブサイト上で受発信されている今日、大勢の人たちが目にするホームページの充実と活用が重要と考えます。

現在、当協会のホームページのシステムは平成17年に作成されたもので、スマートフォン対応となっていないことや、一部古いままの情報となっていることからリニューアルを検討しています。

リニューアルに当たっては専門家の意見を聞きながら進めていますが、現在のホームページに設けている「各センターの状況」の掲示について重点を置き検討しています。常により新しい各センターの情報が手軽に掲載できるシステムにしたいと考えています。

つきましては、各センターで「このような情報を発信したい」「このような方法で活用したい」など、ホームページ作成についてのご要望やご意見などお寄せいただければと思います。専門家と相談しながら、参考にさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、今後全体システムの概要が固まり次第、各センター別に掲載内容の確認などをさせていただきますので、ご協力のほどお願いいたします。

介護保険業務の
様々なご要望にお答えします

介護保険トータルシステム「Rely III」

株式会社

アール・シー・イス

〒760-0020

高松市錦町1丁目4番37号

TEL:(087)802-5133

FAX:(087)826-5010

はじめて
まいとうんメール便

高松メールセンターからのご案内

メール便... **ハガキ** **封書** **カタログ** など

**激安価格で
配達します**

お問い合わせは
こちらから
四国メールネットワーク協同組合
(有)タウンネット 高松メールセンター
〒761-8058 高松市勅使町519番地
TEL.087-813-0426 FAX.087-813-0436
E-mail takamatsu@carol.ocn.ne.jp
http://www.shikoku-mp.com/



Achieve everyway

株式会社 ウエイ企画

〒760-0062 高松市塩上町7-2

TEL:087-837-1159 FAX:087-897-3007

www.network-way.com

WEB・システム グラフィックデザイン イベント企画・運営

あいおいニッセイ同和損保代理店

(株)フリーエージェント

損保・生保・社会保険労務士
扱っています。

高松市伏石町 2028-2

TEL 087-816-8123

FAX 087-815-1171

**福祉車両など
お車のことならお任せください**



トヨタの福祉車両
「ウェルキャブ」
取り扱いしております

香川トヨタ

定休日 月曜日

本社/高松市春日町1378番地

<https://kagawa-toyota.jp>



総合印刷・イベント事業・マニュアル制作
デジタルコンテンツ企画制作



株式会社 **高松** **東京**

成光社

〒760-0065 高松市朝日町5-14-2

TEL 087-823-0222 FAX 087-823-0211

www.seiko-sha.co.jp

実務者養成施設

介護福祉士実務者研修<通信課程>

- ★4月から翌年3月まで毎月受付
「年12コース」各コース定員24名
- ★全国どこからでも応募できます
- ★スクリーング(通学)は
「医療的ケア演習」を含み7日間

【照会先】 ラポールカレッジ 研修所/事務局
TEL 087-815-0760

〒761-8052 高松市松並町802番地1/日本ケアシステム協会内
駐車場有り(無料)/宿泊1,000円~

地域とともにこれからも。



香川銀行

トモニホールディングス

消防設備士の店

**四国防災設備
有限公司**

消防設備保守点検

〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上1833-6番地

TEL(087)898-3913

FAX(087)898-8801

ご利用ください。

● E-mail (電子メール) ●



magokoro@hyper.ocn.ne.jp

● URL (ホームページ) ●



<http://www.jp-care.gr.jp>

編集後記

赤とんぼが舞い、稲穂が頭を垂れはじめ、夏から秋へと季節が移っています。でも9月下旬の今、まだまだ日中屋外での作業は大変です。

社会経済を回すため、ウイズコロナ(コロナとの共生)が求められています。感染のピークは過ぎたとの見方があるようですが油断はできません。これから冬に向かって感染拡大も懸念されています。一日も早い収束を願って、マスクの着用、こまめな手洗い、手指の消毒、部屋の換気などに心がけ乗り切りましょう。

くれぐれもご自愛のうえ、ご活躍をお祈りいたします。

全国まごころケアネット
 特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会
 まごころケアサービスセンター

センターの名称	住 所	Eメール	TEL	FAX
本 部	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-815-0771	087-815-0773
まごころケア旭川	〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目セントラル7条ビル202号室	magokolo@tmt.ne.jp	0166-26-8639	0166-74-3172
まごころケア塩釜	〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町39-2	jms@cococn.ocn.ne.jp	022-362-2030	022-362-3303
まごころケアサービス 福島センター	〒960-2262 福島県福島市在庭坂宇南林60-2	magokoro@safins.ne.jp	024-573-7539	024-591-5441
まごころケアサービス 二本松センター	〒964-0903 福島県二本松市根崎1-9	kuwabara.masaaki@ivory.plala.or.jp	0243-22-0112	0243-22-0112
まごころサービス 国見センター	〒969-1761 福島県伊達郡国見町藤田日渡四18の1	magokoro923@yahoo.co.jp	024-585-5923	024-585-5924
まごころケア千葉	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-23-15 グランドウール第2-107号	magokoro12315@nifty.com	043-274-9711	043-274-9718
まごころケア京田辺	〒610-0331 京都府京田辺市田辺北川44番地	sqkg13630@eto.eonet.ne.jp	0774-64-3722	0774-64-3722
まごころサービス 岡山センター	〒703-8232 岡山県岡山市中区関19番地1	magokoronowa@mx4.et.tiki.ne.jp	086-278-2926	086-278-2966
まごころサービス 倉敷センター	〒706-0001 岡山県玉野市田井3-12-18	rappyon@lime.ocn.ne.jp	0863-31-6640	0863-31-5110
まごころケア高松	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-865-8001	087-865-8039
まごころケア国分寺	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分1284-1	ajisai@eagle.ocn.ne.jp	087-874-6625	087-874-6685
まごころケアにこにこ三豊	〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬1883-1	nikoniko-mitoyo@shirt.ocn.ne.jp	0875-73-6750	0875-73-6751
まごころケア丸亀	〒765-0032 香川県善通寺市原田町1317-7	tyusan.n-377-p4376-o@wing.ocn.ne.jp	0877-64-0278	0877-64-0279
まごころケア屋島やすらぎ	〒761-0111 香川県高松市屋島東町1414	mal1ka1584yasuragi@swan.ocn.ne.jp	087-843-9590	087-841-3853
まごころケアサービス 大川センター	〒761-0904 香川県さぬき市大川町田面1198	okawa@samariya.or.jp	0879-43-3191	0879-23-2712
まごころケア西春日	〒761-8051 香川県高松市西春日町1510番地1	keisuke82kasai@gmail.com	087-869-1165	087-869-1195
まごころケア ぽっかぽか川之江	〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町1660-1	kamayan@cosmostv.jp	0896-56-2623	0896-77-5761

「日本ケアシステム協会」会報
 令和4年10月1日 発行No.161

発行所 〒761-8052 高松市松並町802番地1
 TEL087-815-0771 FAX087-815-0773
 URL <http://www.jp-care.gr.jp>
 編集発行人 兼間 道子
 郵便振替 口座番号 01610-0-92689
 印刷所 (株)成光社

まごころケア高松
 NPO法人 長寿社会支援協会

〒761-8052 高松市松並町802番地1
 TEL087-865-8001 FAX087-865-8039
 E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp
 URL <http://cho-jyu.info/>